

地区大会では仕事の合間を縫ってなるべく多くの試合を見に行きました。その中で印象に残ったシーンを紹介します。ある女子チームが決勝で負けてしまいました。その直後、同時進行していた男子チームの決勝に移動し、目を腫らしながら大声で応援する姿を見ました。悔しい気持ちを抑え、他者を応援するといった行動、これは大人でもなかなかできるものではないと、観じました。

「夢やロマンがあるのはどちらか」

まずは野球部の皆さん、昨年の秋、今年の春と悔しい結果が続いていますが、君たちが冬場、黙々とトレーニングをしている姿、何より、日常の振る舞いから、君たちは勝利すべきチームであると、私は思っています。トーナメント方式が変わりますが、一つでも多く勝ち上がってほしいと願います。

次に支部大会を勝ち抜いた皆さん、全道大会出場おめでとうございます。全ての選手が参加資格を持つ支部大会と、選ばれたチームのみが出場できる全道大会とでは、その性格や会場の空気も全く異なります。そのような場に立てる幸せを理解し、調整を進めてください。また、残念ながら出場できなかったチームは、1年後は、必ず「前へ」いてください。

地元で生まれ育った選手で全国を目指すチームと、全国に行くために全道・全国・海外から選手を集めたチーム、夢やロマンがあるのはどちらか。1人でも、1チームでも多く、「ここから全国へ」行ってくれることを本気で願っています。

最後に3年次生を激励します。大会に向けて気持ちが入っているかと思い、そのこと自体は悪いことではありませんが、気持ちが入り過ぎるといいプレイはできません。気持ちをコントロールしながらプレイしてください。あれこれ心配しなくても、ベンチの先生が背負ってくれます。安心して全道の強豪校と思いきり勝負してきてください。